プロジェクト・ステート・シート記入例

表1．プロジェクト概要

＜凡例　記入担当＞　青色欄：プロジェクトリーダ　緑色欄：自動計算に付き記入不要　※．赤枠内を、担当責任者会議報告書に集約すること。

プロジェクト名／サブプロジェクト名	Aプロジェクト	Xサブプロジェクト	開始	2006/8/1	判定/TOPIC	○／特になし		開発規模見積（人月）	*****
			納期	2007/3/31				開発規模実績（人月）	*****
プロジェクト番号	P08-0001	01	クラス	C					
オーダー	C2000		請求予定額（千円）	*****	予算（計画）（千円）	*****	外注費（予定）（千円）	*****	経費（予定）（千円）	0
顧客、担当者	○○システムズ、××BU、●●課長		検収実績（千円）	*****	消化金額（千円）	*****	外注費（実績）（千円）	*****	経費（実績）（千円）	0
リーダー	ジョン・スミス		検収率		予算消化率		予算外注率		予算経費率	

<担当責任者コメント>

記録番号	
作成日	2008年10月10日

開発部門	
担当責任者	PL
年　月　日	年　月　日

表2．プロジェクト状況

プロジェクト状況
実績　●：完了、　◎：実施中、　○：実施予定、　×：未実施、　－：実施しない

静的解析ツール実施状況　本項目は静的解析ツールを実施する予定のプロジェクトのみ記載とする。それ以外は対象外(-)とする。
実績　●：完了、　◎：実施中、　○：実施予定、　×：未実施、　－：実施しない

開発管理手法　計画、実績とも下記の記号で記入する。
進捗管理　●：アローを利用、◎：ガントチャートを利用、○：市販ツールを利用、×：利用せず、-：対象外
ブロック図、組織図、構成品目表　●：利用、×：利用せず、-：対象外

・メトリクス：予測値、実績値を記載する。
・新規/改造区分　新：新規開発物件、改：改造物件、-：対象外（ソフト開発無し）
・開発言語：開発で主に用いるプログラム言名語を記入する。

・本項目は静的解析ツールを実施するプロジェクトのみ記載とする。
エラー数：
ファイル単位のWarning Countを積算
if/do/switch量：
ファイル単位のSTCYC（経路複雑度）を積算
ネスト：
ファイル単位のSTMIF（関数メトリクス）の最大値

		プロジェクト状況								開発管理手法				メトリクス（必須）									静的解析ツール実施結果（任意）						備考
		作業範囲と進捗						静的解析ツール実施状況						設計書（頁数）		ソースコード							エラー数		複雑さ				
																		新規・改造規模（kStep）							IF/DO/SWITCH量		ネスト		
		ソフトウェア要求仕様	ソフトウェア方式設計	ソフトウェア詳細設計	コーディング／単体テスト	結合テスト	総合テスト	静的解析ツール実施有無	最終ソースでの実施	進捗管理	ブロック図	組織図	構成品目表	要求仕様・方式設計・詳細設計	単体・結合・総合テスト成績書	新規・改造区分	開発言語	開発母体	改造	開発対象外	完成母体	作業量（ｋｓ）	初回	最終回	初回	最終回	初回	最終回	
	プロセス	RS	BS	DS	CUD	CD	SD												a	h	b	c				e			
工程管理	プロジェクト進捗	●	●	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○																
	レビュー 計画		2008/8/11	2008/10/12	2008/10/15	2008/11/10							予測値	200	400	改	C言語	100.0	8.0	90.0	104.0	10.0							
	レビュー 実績			2008/10/15																									
	検証 計画		2008/9/20	2008/10/12	2008/10/30	2008/11/10																							
	検証 実績		2008/9/20	200//10/15																									
	妥当性確認 計画		2008/9/22	2008/10/12	2008/10/30	2008/11/10																							
	妥当性確認 実績		2008/9/22	2008/10/15																									

※1．1つのプロセスに、複数のレビュー対象物がある場合は、各プロセスの一番最後の対象物のレビューが完了し出荷した時点で、”●：完了”と記載する。
※2．計画から30日経過後も実績が記入されていないとセルが赤く変化(警告)します。

指標名	開発効率（nKS/人月）	テスト実施率（件数/KS）	不良発生率（件数/KS）	複雑度（(IF/DO/SWITCH量)ks）
対象部位	作業箇所	作業箇所	作業箇所	完成母体
計算式	c/開発規模実績	テスト件数／c	件数／c	e／b
結果				

作業箇所　：改造を含み、調査や検証の対象となった箇所
完成母体　：最終的なソースコード全体の量

表3．プロジェクト状況（オーダ別）

	オーダ別作業範囲と進捗					
オーダー	RS	BS	DS	CUD	CD	SD
B4011-1	●					
B4011-2		●				
B4011-3		●	●			
B4011-4			◎			
B4011-5			◎			
B4011-6				○		
B4011-7				○	○	
B4011-8				○	○	
B4011-9						○
B4011-10						○

表4．採算性

オーダー	納期	検収状況	検収額（千円）	加工費（千円）	経費（千円）	外注費（千円）	回収率	外注比率（%）	成果物（実績）
			j	m	n	o	j/(m+n+o)	o/(m+n+o)	
B3120	2007/5/30	2008/5/30	xx,xxx	yy,yyy	0	0	*.**	0%	RS
B3447	2007/6/30	2008/6/30	xx,xxx	yy,yyy	0	0	*.**	0%	BS
B3448	2007/6/30	2008/6/30	xx,xxx	yy,yyy	0	0	*.**	0%	BS
B3596-1	2007/7/31	2008/7/31	xx,xxx	yy,yyy	0	0	*.**	0%	DS, CUD
B3596-2	2007/8/31	2008/8/31	xx,xxx	yy,yyy	0	0	*.**	0%	CUD
B3596-3	2007/9/30	2008/9/30	xx,xxx	yy,yyy	0	0	*.**	0%	CUD, CD
B3596-4	2007/10/31	2007/10/31	xx,xxx	yy,yyy	0	0	*.**	0%	CD, SD
B3596-5	2007/11/30	2007/11/30	xx,xxx	yy,yyy	0	0	*.**	0%	SD
B3596-6	2008/12/31	2008/12/31	xx,xxx	yy,yyy	0	0	*.**	0%	SD
B3596-7	2008/1/31	2008/1/31	xx,xxx	yy,yyy	0	0	*.**	0%	SD
			-				-	-	
			-				-	-	
			-				-	-	
			-				-	-	
			-				-	-	
			-				-	-	
			-				-	-	
合計			0	0	0	0	*.**	#DIV/0!	

表5．不具合管理と是正処置状況

月度＼項目	社内発生不具合件数(月度)	顧客指摘不具合件数(月度)	仕様変更件数(月度)	不具合発生件数合計(累積)	不具合処置済件数(累積)	是正処置状況
2008年8月	0	0	0	0	0	
2008年9月	200	10	4	210	4	対策不要
2008年10月	50	120	3	380	17	対策完了
2008年11月	25	60	5	465	48	
2008年12月	20	110	2	595	70	経過監視
				595		
				595		
				595		
				595		
				595		
				595		
				595		
合計	0	300	14			

是正処置状況：　【Step1】　【Step2】　【Step3】
経過監視　→　対策不要
→　対策中　→　対策完了

表6．開発ツール

目的	ツール名
ビルドツール	RalView
テストツール	ELT
変更管理	●（アクセス版）
バージョン管理	Subversion

ビルドツール：　ツール名を記載
(GCC, HEW, RealView, VisualStudio)
テストツール：　ツール名を記載 (ELT, C++test, CUnitなど
変更管理：　●：変更管理ツール（JRCE標準）を利用、
◎：バグ管理表を利用、
○：市販ツールを利用、
×：利用せず、-：対象外
バージョン管理：　「管理ツール名」または「方法」を記載